

僕が今までの2年と2ヵ月のヨット生活で最も鮮明に思い出されることは、福岡県大会2日目にあった第5レースでの2位に大きく差をつけてトップで回った1マーク後の光景です。

後ろを見ると、さまざまな色のスピンセールがあり、海の上に花が咲いているようでした。僕はこれまで取ったことのない順位にいたので、後ろから迫る中村三陽高校の艇になんとか追いつかれないようにと思うと、緊張して自然と手が震えてきました、しかしとてもすがすがしい気分でした。監督の豊原さんはよく、「一回上マークを一位で回って前には艇がない状態を体験してみ、気持ちいいけん。」と、僕たちにおっしゃいます。緊張こそしていましたが、その時は「あ、トップ艇がいつも見ているのはこんな景色なのか。」と思うと同時に、豊原さんがおっしゃっていた言葉を思い出しました。すがすがしかったのは、豊原さんの言葉の意味がようやくわかったからかもしれません。指導者の方々、今まで手取り足取り僕たちに教えてくださりありがとうございました。

最後に後輩へ、本当に短い間だったけど、僕たちについてきてくれてありがとう。そして、お願いが2つだけある、ヨット部を絶やさないようにしてくれ。そして、僕たちができなかったインターハイ出場を勝ち取ってくれ！